

## ■ 2008年はジェネリック事業拡大へ節目の年

日本ケミファは2007年4月からスタートした中期経営計画「Next Stage 飛躍」において、5年間はジェネリック医薬品事業に経営資源を集中的に投資し、日本のジェネリック医薬品市場、特に病院市場やチェーン調剤薬局市場においてジェネリック医薬品の「ケミファ」ブランドを確立していくことを経営の大きな目標に掲げて、取り組んでおります。

中でも、2008年はジェネリック医薬品が、今後大きく市場拡大する「変革の年」となると考えております。

その要因は次の2つが挙げられます。

その一つは、DPC制度導入病院数の倍増、処方箋様式の変更や薬剤師・保険薬局の規則の改定、診療報酬制度の改定など、ジェネリック医薬品の普及拡大を目指す国の新たな制度や政策がスタートしたことです。

二つ目は、2008年7月に、年商2,000億円超の先発市場規模をもった超大型のジェネリック医薬品が発売されるなど、過去にはない規模の新たなジェネリック医薬品が上市されることが、ジェネリック医薬品市場全体が大きく拡大していく推進役を担うことが期待されることです。

当社はこのビジネスチャンスを着実に掴み、“将来への業績拡大への大きな節目の年”にしていきたいと考えております。



主要ジェネリック医薬品

ジェネリック医薬品の売上構成比推移

